

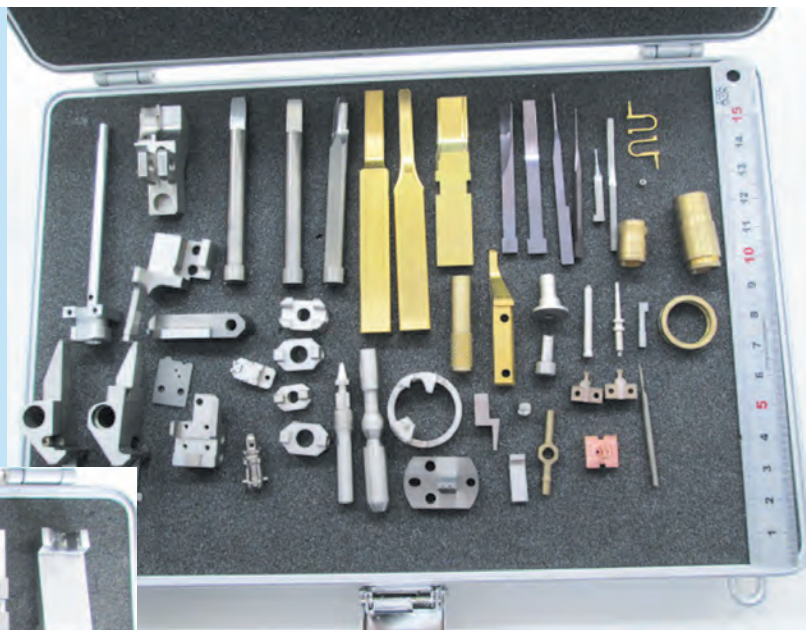
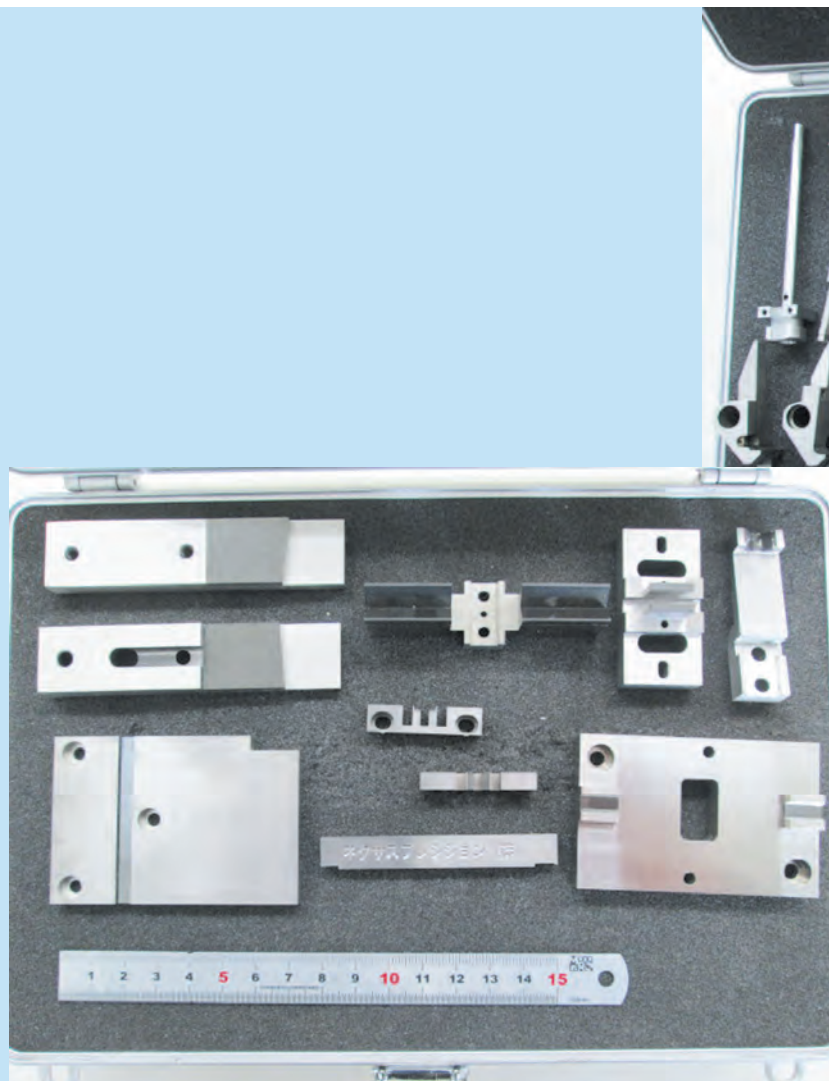
25年度補正



ネクサスプレシジョン株式会社

生産工程プロセスの設備導入による 生産効率向上計画

当社が行う金属加工のプロセスにおいて、マシニングセンター（前工程）及び光学顕微鏡（後工程）を導入することにより、一貫した生産プロセスを構築し、リードタイムの短縮・加工技術の向上・加工項目の多様化及び品質保証による精度の確保を図る。



事業の背景と目的

当社が行う金属加工はこれまで外注依存度の比率が高く、納期・品質・技術面が最大のネックになっていた。そこで主に自動車産業分野において顧客のニーズに対応した製品形状の加工を可能とし、加工による誤差 μ 単位と世界的にトップクラスの精度の高い技術力を製品に100%活かすことを目的に、マシニングセンター（前工程）及び光学顕微鏡（後工程）を導入することとした。

事業内容と成果

機械導入に伴う人材確保のため、雇用を行った。また、今まで外部に出していた前工程を内部に取り組むことにより、得意とする精密加工の後工程までの一連の流れを構築し、導入した検査装置での品質保証体制の強化につながった。そのため受注の幅が広がり、今後の展開においても期待できる。



マシニングセンター



光学顕微鏡



取材風景（宮尾部長）

事業取り組み後の成果

①これまで外注していた前工程を内製化したことで、後工程までのスムーズな一連の流れができ社内製造体制が構築できたこと ②マシニングセンターの導入により、量産品の受注が可能となったこと ③精度の高い検査機器の導入により、取引先からの公差指示に対する信頼性が向上した結果、受注増につながったことである。

達成要因

①工場開設や設備導入において、スムーズに事業を開始できるよう、全社を挙げて量産品の受注活動を行った ②当社の技術スタッフがオペレーター教育訓練の全面サポートを行った ③当社では以前から各工程ごとに品質完了検査を実施しており、製造現場に不良品削減の仕組みができあがっていたことなどが挙げられる。

今後の取り組み

①営業面では、半導体メーカーや自動車関連メーカー、その他の業界の量産品を中心とした受注拡大を図る ②鹿児島始良工場では、研磨仕上げまで一貫製造体制を構築する ③人材面では、「教育マニュアル」の整備とともに、ものづくりの知恵を持った「加工職人」を育成し、フレックスタイム制などの導入も模索していきたい。

ネクサスプレジジョンブランドで「共存・共栄」を目指します



2017年に設立30周年を迎えたことに加え、今回の鹿児島始良工場の開設及び設備導入が更なる飛躍の足掛かりとなるような事業展開に期待したい。自動車業界は比較的安定した取引形態ではあるが、業界によっては繁閑変動の差が大きく、生産調整を強いられる面も多い。そこで、繁閑周期の異なる受注案件による工場稼働率の平準化を図るとともに、日本本来の強みであるものづくりの知恵を持った「加工職人」の育成をお願いしたい。

企業PR

当社は熊本と鹿児島に工場を有する各種金属加工、装置・工具の製造会社です。

1987年 熊本県菊池郡にサンテック株式会社を設立

1992年 現社名に変更

2004年 ISO9001、ISO14001を取得

2012年 薩摩川内市に鹿児島川内工場を開設

2018年 始良市に量産品製造工場として鹿児島始良工場を新設



事業者 ネクサスプレジジョン株式会社

代表者 代表取締役 外園 正俊

設立年月日 昭和62年6月9日

所在地等

〔本社〕 〒861-2401

熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子358-5

TEL 096 (279) 2833 / FAX 096 (279) 3950

〔工場〕 〒899-5652

鹿児島県始良市平松字湯尻3744-5

〈URL〉 <https://www.nexusprecision.co.jp/>

資本金額 1,785万円

従業員数 106名

業種 金属製品製造業